

令和7年1月6日

お客様 各位

株式会社パイン総合研究所
コンサルティンググループ

労務相談定期レポート

弊社コンサルティンググループでは、年間約1,000件の労務相談にご対応しています。以下、令和6年度、第3四半期に各企業様から寄せられた労務相談について、集計結果と最近の相談傾向等に関する定期レポートをお送りします。

1. レポート対象期間 令和6年10月1日～令和6年12月31日
2. 相談内容

第3四半期（令和6年10月1日～令和6年12月31日）において、相談件数は144件ありました。特に多くいただいた相談内容は、下記のとおりになります。

	内容	割合
1	労働時間・休日・休暇	20.8%
2	育児・介護休業	13.2%
3	賃金（賞与・退職金含む）	11.1%
4	定年・再雇用	9.0%
5	退職・解雇	9.0%

3. 最近の傾向

令和6年第3四半期に、労務相談で最もご相談件数が多かったのが「労働時間・休日・休暇」に関するご相談でした。ここは従来から相談件数の多いところで、前四半期の16%から約21%に増えています。

「育児・介護休業」に関するお問合せは目立って増えていて、第1四半期1.2%（2件）、第2四半期10.7%（13件）、この四半期は13.2%（19件）に増えました。前回もお伝えしたとおり、4月からの育児・介護休業法改正を控え、各社様が就業規則変更等の準備をされている中でのお問合せが増えている結果が表れています。

4月からの法改正に向けて、様々な疑問・質問等あろうかと存じます。どうぞお気軽に、弊社コンサルティンググループの労務相談をご活用いただければと存じます。

以上